

要 望 書

知多半島は江戸時代後期、廻船を使って江戸へと酒を送り、灘に次ぐ酒どころとして知られたところでした。明治4年の記録では227軒もの酒蔵があり、現在は6蔵が工夫や改良を重ね、現代に生きる酒造りに精進しています。

半田市および知多半島地域の伝統産品である日本酒(以下「知多酒(ちたしゅ)」という。)による乾杯の習慣を広めることにより、知多酒の普及を通じた知多半島地域の食文化、醸造文化への理解の促進に寄与することを目的に下記事項を要望します。

記

- 1 「知多酒」の普及にかかる『知多酒で乾杯』の条例化
- 2 知多半島市町の『知多酒で乾杯』条例化制定への支援

平成25年8月9日

半田商工会議所 会頭 榊原卓三

半田酒造協同組合 理事長 澤田研一